

名称	目的（概要）	カリキュラム
新規採用者 訓練	まず就労に必要な基礎知識を付与することにより、日々の業務を円滑に行うことが可能となり、長期就労に結びつくと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、言葉遣い、メール等 ビジネスマナー、接客話法、応対話法、敬語 プログラミング基礎 プログラミング応用 システム開発入門

名称	目的（概要）	カリキュラム
半導体 オンライン 知識向上	半導体製造装置の世界的業界団体SEMIが定めた統一通信規格の理解を深め、オンラインソフトウェア実装時の効率化を図り、既存システムの改善に速やかに対応できるスキルを得ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 業界標準ソフトウェアの仕様を理解する 既存ソフトウェアパッケージ資料による概要トレーニング 既存ソフトウェアパッケージ資料による開発トレーニング 開発リーダー経験者作成資料による開発の実際を学ぶ。

名称	目的（概要）	カリキュラム
モデリング 技術習得	<p>ソフトウェア開発は、業務システム開発をそのプロセスや実体などを表現するモデルを基に、ソフトウェアコンポーネントや再利用可能コンポーネントをカスタマイズ又は組合せることで対応できる段階にある。</p> <p>eビジネス分野では、円滑なビジネス連携を可能とするため、業務プロセスや業務ルール等の共有や、仕事を行うために最も効率のよい技法、手法への準拠性確保など、システム開発の上流における作業が大きな意義を持っている。</p> <p>これからのシステム技術者に求められることはシステム開発上流工程におけるモデル構築が出来ること、そのモデルを通じてシステムの妥当性、運用性、完全性に関する責任を果たすことが求められる。</p> <p>モデリング技術は、そのような上流工程のため、あるいは要求仕様とソフトウェア実装仕様の間をつなぐ必須スキルともいえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モデリングを行う最低限の知識を持つための学習 開発範囲の一部を担当しモデリングを学習 他のモデルの意味を理解する訓練 拡張性や変更容易性の点で高品質なモデルを定義できる ビジネスモデリング、分析、アーキテクチャ設計、組み込み開発を行うための専門的な知識を備える（分野は選択） 開発プロジェクトでモデリングを実践できるスキルを得る。 認定試験取得（費用の支援有）

名称	目的（概要）	カリキュラム
リーダー 育成訓練	後輩社員への接し方、人に教える技術を学ぶことで自分自身のスキルアップに繋げる。 また、部下の管理・育成知識を学び、リーダーとして部下の育成方法に必要な指導技術を身につける事で部下を即戦力人材に育てる。	・相手に分かりやすく教える技術 ・パワーハラスメント対応 ・社員のモチベーションの高め方 ・こうすればやる気生まれる ・競合他社に差をつける 必勝プレゼンテーション

※1 教育訓練に有した時間の賃金は実施対象者全てが有給であり、また訓練の費用負担は無償とする。